

猫腭特異的リパーゼ検査用キット

スナップ・fPL

スナップ・fPLは、猫血清検体中の腭特異的リパーゼを抗原として検出する酵素免疫測定法を用いたキットである。本キットは、腭炎の猫の循環血中に漏出した腭リパーゼ免疫活性(fPLI)を検出する。

一箱の構成

本キットはデバイス、コンジュゲート、サンプルバイアル、トランスファーピペットからなる。コンジュゲートには西洋ワサビ由来ペルオキシダーゼ(HRPO)標識抗猫腭特異的リパーゼ抗体が、デバイスには洗浄液、TMB溶液が含まれる。

本キットは定められた以下の注意、保存方法、使用方法、判定方法をかならず守ってご使用ください。

一般的注意

1. 定められた使用方法を厳守すること。
2. 使用目的において定められた目的にのみ使用すること。

使用時の注意

1. キットは事前に室温に戻しておくこと。加温しないこと。
2. 検体は血清を使用し、血漿や全血は使用しないこと。
3. 検査ごとに新しいサンプルバイアルおよびピペットを用いること。
4. デバイスは使用するまでアルミホイル製の袋から出さないこと。
5. 使用前にアクティベーターを押さないよう注意すること。また、検体を加える前にアクティベーターを押してしまったデバイスは使用しないこと。
6. 検査中は常にデバイスを水平に保つこと。
7. アクティベーターを押したデバイスは強い光にさらさないこと。
8. 本キットの結果のみを用いて腭炎の確定診断としないこと。腭炎の診断に当たっては、本キットの判定結果と臨床症状、その他の検査結果を総合して判断すること。また、サンプルスポットの発色がコントロールスポットの発色と同程度の場合は、特に慎重に判断すること。

取扱い上の注意

1. 外観又は内容に異常を認めたものは使用しないこと。
2. 使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
3. 異なる製造番号の試薬を組み合わせ使用しないこと。
4. 検査時には手袋を着用するなど、検体の取扱いには十分に注意すること。
5. 使用済みのデバイス等は、地方公共団体条例等に従い処分し、作業終了後には作業場所をきれいに消毒すること。

保管上の注意

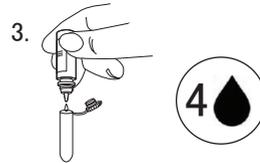
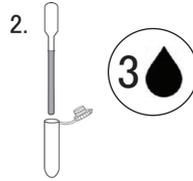
1. 直射日光又は冷凍は品質に影響を与えるので、避けること。
2. 小児の手の届かないところに保管すること。

保存方法

キットは2-8°Cで保存すること。

使用方法

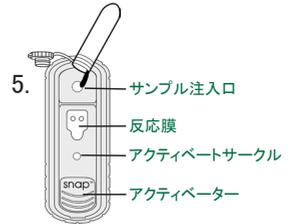
1. あらかじめ、デバイスとコンジュゲートは室温(15-25°C)に戻す。
2. 付属のピペットを用いて検体(血清)3滴をサンプルバイアル(以下バイアル)に分注する。
3. コンジュゲートの入ったボトルを垂直に保ちながら、バイアルにコンジュゲートを4滴加える。



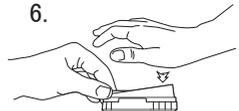
4. バイアルのふたを閉め、3-5回の転倒混和によりサンプルを良く混ぜ合わせる。



5. デバイス本体を水平に置き、バイアル中の検体全てをサンプル注入口に注ぐ。サンプルは反応膜を横切りアクティベートサークルの方向に流出する。



6. サンプルがアクティベートサークルに達したら、完全に青色になる前にアクティベーターを押す。通過するのを待たないこと。このときアクティベーターが本体基底部と水平になるまで完全に押し下げること。



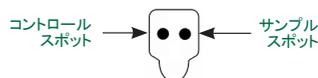
※60秒経過後もアクティベートサークルにサンプルが達しない場合には、サンプルが反応膜を通過した時点でアクティベーターを押す。



7. 10分後に判定を行う。

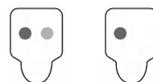
判定方法

反応膜のサンプルスポットとコントロールスポットの発色度合いを比較することにより、正常か高値かのいずれかの判定を行う。



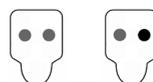
正常

サンプルスポットの発色がコントロールスポットよりも薄い場合。
(サンプルスポットは発色しない場合もある)



高値

サンプルスポットの発色がコントロールスポットと同程度又は濃い場合。



判定保留

注: 判定保留の場合には再検査を行う。

- バックグラウンドが発色し、結果判定が困難な場合。
- コントロールスポットが発色しない場合。

サンプルスポットの発色がコントロールスポットの発色と同程度の場合は、特に慎重に判断すること。

肺炎の診断に当たっては、本キットの判定結果と臨床症状、その他の検査結果を総合して判断すること。本キットの結果のみを用いて肺炎の確定診断としないこと。

試験成績例

Spec fPLを用いて肺炎特異性リパーゼ濃度を測定した猫血清検体を、スナップ・fPLを用いて測定し、それぞれ「正常」又は「高値」の目視判定を行う。1検体につき、1人の測定者が10測定、計3人の測定者による試験成績を以下に示す。

Spec fPL で測定した fPL 濃度(µg/L)	スナップ・fPLにおける試験成績				
	予測される 判定結果	スナップ・fPLでの判定結果			
		測定者 1	測定者 2	測定者 3	計
1.64	正常	10/10 正常 [※]	10/10 正常	10/10 正常	30/30 正常
3.53	正常又は高値	6/10 正常	9/10 正常	9/10 正常	24/30 正常
6.10	高値	10/10 高値	10/10 高値	10/10 高値	30/30 高値

[※]10/10 正常:10測定中10回を「正常」と目視判定

IDEXX テクニカル サポート

日本 0120-71-4921 ▪ アメリカ/カナダ 1-800-248-2483 ▪ ヨーロッパ idexx.eu
オーストラリア 1800-655-978

IDEXX

製造販売元

アイデックス ラボラトリーズ株式会社
東京都杉並区和泉 1-22-19

製造元

アイデックス ラボラトリーズ
米国メイン州

* スナップ、スナップ・fPL および Spec fPL は米国および/または他国における IDEXX Laboratories, Inc. の商標または登録商標です。

© 2017 IDEXX Laboratories, Inc. All rights reserved. • 06-0003799-01